

宅配サービス支援事業「デリバリー三鷹」

加盟店が4店舗加わりました。さらに、各店舗の配達メニューが増えました



市内飲食店のお弁当やテイクアウトメニューを学生宅配スタッフがご家庭へお届けするデリバリー三鷹に下記の4店舗が加わり、参加店舗が39店舗(11月1日現在)となりました。

さらに、それぞれの加盟店舗の配達メニューが1~2商品追加になりました。

ご利用の際はインターネットの前日注文がお勧めです。デリバリー三鷹をぜひご利用ください。



【そば・和食・居酒屋】

- わんすたCafe&酒場

【中華】

- 三福屋
- 日比谷松本楼 杏林大学付属病院店

【その他】

- 青木屋 三鷹野崎店

宅配サービス内容

配達時間

【昼便】①11:00~12:00 ②12:00~13:00 ③13:00~14:00
【夜便】④16:00~17:00 ⑤17:00~18:00 ⑥18:00~19:00

注文方法

◆インターネット注文

<https://takuhaim.easy-myshop.jp/>

前日 | 6:00~24:00

◆電話注文

☎ 0422-40-0311

前日 | 9:00~17:00

当日 | 【昼便】 9:00~10:00
【夜便】 ④は、9:00~14:00 ⑤⑥は、9:00~15:00

配達手数料
無料



- ◆宅配スタッフに限りがあるためご注文をお受けできない場合があります。◆多くの方が利用できるよう、1日一回一世帯1店舗の商品のみとさせていただきます。
- ◆アレルギー対応や注文内容の変更はお受けできませんので、ご了承ください。◆直接商品を受け取る場合のみ注文をお受けします。
- ◆支払いは現金または「三鷹市敬老お食事クーポン券」、取扱店舗では「三鷹市プレミアム付商品券」が利用できます。
- ◆学生宅配スタッフは、自転車安全講習会を受講し、安全運転でお届けします。◆注文のキャンセルはできません。

つくりたい! が世界を変えていく!

中高生国際Rubyプログラミングコンテスト 2020 in Mitaka

今年で10回目を迎える当コンテストは、中高生を対象に、国産のプログラミング言語「Ruby」を活用した作品を募集します。今年は学校の休校等の状況を考慮して、下記のとおり募集期間を延長します。また新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、最終審査会もどこからでも参加できるオンラインでの開催とします。皆様の思いやアイデアを形にした作品をお待ちしています。

作品募集

- 募集区分:①ゲーム部門 ②クリエイティブ部門
- 応募方法:作成したプログラムファイルをメール又はメディアに収めて郵送
- 応募締切:2021年1月11日(月)必着

※各テーマの仕様・環境要件・審査基準等その他詳細は、大会HPを参照

最終審査会

- 開催日:2021年3月6日(土)
- 配信方法:YouTubeにてライブ配信(予定)
- 料金:無料

※配信スケジュール等詳細は大会HPにて後日発表

大会HP <https://www.ruby-procon.net/>



三鷹産業プラザ7階会議室をご利用ください

新型コロナウイルス等の感染予防対策として、貸出し用のサーマルカメラやアクリルボード(床上、卓上)完備。オンライン(Web)会議もスムーズです(有線/無線LAN選べます)。換気対策もしています。

お申込みはインターネットで

<https://kaigi.mitaka.ne.jp/>

※会議室の利用条件は、社会状況により変更となる場合があります。

問合せ ☎0422-40-9911(専用ダイヤル)

✉yoyaku@mitaka.ne.jp ※電話・メールでの予約はできません。



702会議室(利用例)

個人情報の取扱いについて

(株)まちづくり三鷹は、お客様及び当社に関わる方の全ての個人情報について、当社の個人情報保護方針に基づき、適切に保護、管理、運用、利用してまいります。



●個人情報に関する相談窓口

(株)まちづくり三鷹 三鷹市下連雀 3-38-4 三鷹産業プラザ

☎ 0422-40-9669 ☎ 0422-40-9750 ✉ privacy@mitaka.ne.jp

◇無料購読のお申込み・変更・中止のご連絡は随時お受けしています。

内容についてのお問合せ

発行元 (株)まちづくり三鷹 ☎ 0422-40-9669

〒181-8525 三鷹市下連雀 3-38-4 三鷹産業プラザ

FAX 0422-40-9750 ✉ info@mitaka.ne.jp <https://www.mitaka.ne.jp/>

(株)まちづくり三鷹は、三鷹市全域のまちづくりを総合的に支援することを目的に設立された第三セクターです。

●制作協力:(有)そーほっと

三鷹

まちづくり通信

2020年度

2号



Poki

©2001スタジオジブリ

この通信は、地域産業の振興と総合的なまちづくりを推進するために、三鷹市と株式会社まちづくり三鷹が協働で発行しています。三鷹市内のまちづくりに関する事業や催しもの、まちづくり団体の活動などを紹介しています。

起業を考えている方、創業間もない方を地域で応援します!

三鷹市の創業支援メニュー

with コロナの時代をのりきろう

三鷹市では、創業支援事業として、市、三鷹商工会、NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構、(株)まちづくり三鷹が連携して、起業を考えている方、創業間もない方向けに様々なメニューを用意しています。

創業に興味がある、創業などについて知りたい、知識を深めたい方向けには、「三鷹『まち活』塾」「創業塾(5日間コース)」「みたか身の丈起業チャレンジ」「みたか身の丈経営塾(経営者実学サロン)」などの学びの場があります。

事業についての相談や創業のノウハウを学びたい方向けには「創業相談」「コーディネーター相談」「経営者実学サロン」「ミタカフェセミナー」があり、事業計画を審査してほしい方には、「みたかビジネスプランコンテスト」を毎年開催し、事業の成長を応援しています。

既に事業を立ち上げている方向けには、事業PRや情報交換の場として「SOHOフェスタ」を毎年11月に開催しています。詳しくは、2面をご覧ください。

次に、ビジネスのスタートラインにいる方、これからビジネスを始めたいとお考えの方を対象とした様々なオフィススペースがあります。

三鷹産業プラザ(三鷹市下連雀3-38-4)3階には会員制コワーキングスペース「ミタカフェ」、サテライトオフィス「サテラ三鷹」があります。

会員制コワーキングスペース
「ミタカフェ」



サテライトオフィス
「サテラ三鷹」



デジタルものづくり工房
「ファブスペースみたか」



登記可能なオフィススペースは、同ビル地下1階「ビジネスベース」や、東京都認定インキュベーション施設として「三鷹市SOHOパイロットオフィス」(三鷹市下連雀3-27-1)があり、従業員1人~2人のオフィスに最適です。

ものづくりで創業したい、商品化したい方向けには、デジタルものづくり工房として「ファブスペースみたか」が三鷹産業プラザ1階にあり、3Dプリンターやレーザーカッターなどを設置しています。

「ファブスペースみたか」では、毎年「みたかFabコンテスト」を開催し、デジタルなものづくりを通じて多様な働き方を目指す人への、創業や商品化に向けた支援をしています。

資金調達や補助金活用をお考えの方向けには、「創業融資あっせん」や「三鷹市創業等支援補助金」があります。また、特定創業支援等事業に係る支援を受け、市が交付する証明書を取得することにより、登記にかかる登録免許税の軽減など、いくつかの優遇措置を受けることができます。

創業支援の詳細や窓口については、下記URLを確認してください。

◆三鷹市の創業支援事業

HP https://www.city.mitaka.lg.jp/c_service/079/079031.html

◆三鷹起業・創業支援サイト

HP <http://sougyou.mitaka.ne.jp/>

三鷹まちづくりフォトコンテスト ～写真を通して未来に伝える～ オンライン講座が開催されました

10月30日(金)にZoomを使ったオンライン講座が行われました。例年三鷹まちづくりフォトコンテストの審査員を務めている林 義勝さんが、自らの未来に伝えたい風景や情景など自身の作品を解説しながら、撮影方法などの講義を行いました。初めてのオンラインでの開催でしたが、参加者からは「コロナ禍でこのような形の開催はありがたい。有意義だった」との感想がありました。



三鷹台まちづくり協議会 『ほっとベンチ』設置の取り組みについて

三鷹台まちづくり協議会では、三鷹市のベンチのあるみちづくり整備事業を活用し、『ほっとベンチ』を設置します。ベンチのあるみちづくり整備事業は、外出時にちょっと一休みできる場として、歩道や沿道にベンチ(ほっとベンチ)を設置する事業です。同協議会は、三鷹台駅北側への設置に向け実験的に寄付を募る活動を行いました。



第23回 SOHOフェスタ オンライン展示会 ～挑戦する事業者の祭典～

動き方の新しいスタイルを模索する今、これまでとは違う、新しいフェスタが開催されます。

新型コロナウイルス感染症の影響で、SOHOフェスタもこれまでのような三鷹産業プラザ7階を会場にした展示会の開催は、かなわない状況でした。

そこで、やり方や情報発信の方法を工夫して過去最高の約70事業者が参加するオンライン展示会として、11月2日(月)～1月31日(日)まで開催されます。

特に11月13日(金)は、公式のメインイベント日として、5つのセミナーと9社の出展者による企画がZoomで実施されました。なかでも、商品をヒットさせるコツとして、株式会社ハイモジモジの松岡厚志さんと株式会社スガイワールの須貝悠さんの対談は、両者のヒット商品が生み出された秘訣が伝わってきて、見ごたえたっぷりでした。参加者は、新たな展示会のカタチを体験しました。

1月31日(日)まで、事業者のおすすめ商品やサービスなど紹介していきます。オンラインで動画閲覧、名刺交換、資料のダウンロード、アポイント可能です。また、ライブで事業者向けのセミナーや出展者によるプロモーション・相談会・デモンストレーションなども実施され、ライブイベント時にはリアルタイムで出展者と情報交換ができます。

オンライン展示 11月2日(月)～2021年1月31日(日)

ライブ配信 公式イベント 出展者によるライブ配信

●12月18日(金)13:30～16:30

●1月15日(金)13:30～16:30

※その他日時でもライブ配信を実施しています。

公式サイト <https://www.mitaka.ne.jp/sohofesta/>

入場料 無料



過去22年のフェスタ史上最多! 70ブース

挑戦する事業者の祭典

第23回 SOHOフェスタ オンライン展示会 参加無料 www.mitaka.ne.jp/sohofesta/

開催期間 2020. 11.2 [月] ~ 2021. 1.31 [日]

公式イベント 2020. 12.18 [金] & 2021. 1.15 [金]

その他にもオンラインイベント多数実施予定

コロナを乗り越える!



三鷹市内のいろいろな活動や物事をウォッチしたいライター石井将直が新型コロナウイルス感染症を乗り越えて私たちの暮らしを豊かにするために三鷹市内でチャレンジしている様々な活動や思いを紹介します。

テラス席設置でまちなかを居心地よく快適に! 「三鷹テラストリート」で新しい日常づくり推進



三鷹市生活経済課 若島慎兵さん フレッシュネスバーガー 三鷹南口店(株式会社Happy Smile) 櫻井雅彦さん 三鷹中央通り商店会 広瀬充弘さん

路上にテラス席を設け、屋外で開放感を感じながら、密を避けての飲食が楽しめる「三鷹テラストリート」。コロナ禍の影響を受けた飲食店応援と、地域で過ごす人が増えたことで新たな生活様式の提案を兼ねた実験的な取り組みとして2020年9月から市内数店舗にて実施されています。今回は商店会と三鷹市のこの取り組みに関わった3名にお話を伺いました。

* 日常を豊かにという思いとスピード感ある立ち上げ

「三鷹テラストリート(テラス×ストリート)」は発案から相談窓口設置まで2週間という異例の早さで事業が滑り出しました。「スピードは意識しました」と話すのは、三鷹市生活経済課の若島慎兵さん。

きっかけはコロナ禍による自粛などで「三鷹で何かできないか」と思っていたところ、国土交通省が道路占用の許可基準を緩和したことを受け、絶好の活用機会だと思い決めたそうです。



晴れた日はフレッシュネスバーガー三鷹南口店の開放感あるテラス席がよく利用されていました

「飲食店応援や密を避ける狙いもあります。そして公共空間の活用として商店街の歩道にテラス席を設けることでコロナ禍でも新たなライフスタイルを提案し、居心地の良さや日常に豊かさを取り戻したい」と想いを語ってくれました。

* 地域貢献のお店がいち早く参加し景観づくりに一役

開店20周年を迎えるフレッシュネスバーガー三鷹南口店もコロナ禍で闘っているお店のひとつです。いち早く「三鷹テラストリート」に賛同し、店前の歩道上でのテラス席営業を開始しました。

代表の櫻井雅彦さんは「当店は全国的に知られるブランドですが、開店以来ずっと地域密着型のローカルな店です。地元のみなさんのためにできることは何でもやるという姿勢で本部と話し合い、歩道でのテラス席営業実施を新たに決めました」と話されました。

お店のイメージやファーストフードの気軽さからも、芝のマットを敷いたテラス席がとてもマッチしています。取り組み事例として外観が頻繁に紹介されたこともあり、晴れた日は街の新たな景観づくりに一役買っています。

利用者からの反応は好評で、特にペットや赤ちゃん同伴の場合、外のテラス席が利用できることがとても喜ばれて

います。ただ、新調したイスとテーブルは気温や日差しの関係で熱くなってしまうことがあり、工夫すべき点はまだまだあると櫻井さんは話します。



フレッシュネスバーガー三鷹南口店代表の櫻井さん 取り組みに時代の変化や行政の柔軟さを感じるそうです

何より地域貢献志向の意識が高い店だということが取材を通して知りました。

* 街のインフラとして商店会にできることは何か?

三鷹市とともに「三鷹テラストリート」推進の一翼を担った三鷹中央通り商店会。副理事長の広瀬充弘さんは、多くの人が遠方に出かけられなくなったことであらためて地元商店街の重要性に気づき、どうあるべきか見つけ直したりする機会があったと話されました。

「強く思うのは、商店街は“街のインフラ(社会基盤)”としての側面を持っているということ。みなさんから洗練された商店街やまちであって欲しいという声も多く聞こえてきます。居心地良く、快適に楽しく過ごせる場づくり、つまりプレイメイキングをしていくことが重要だと感じています」と語る広瀬さん。

そんな時に三鷹市から打診があり、テラストリートの取り組みに即座に共感し、協調して進めていくことにしたそうです。

今後、こうした街の見え方を変えていくような実験的な取り組みをもっと多くの若い人たちにも広げ、積極的に商店街やまちづくりにかわり、議論し合って進めてもらうようにもできればと話されました。

「三鷹テラストリート」はまちの彩りを豊かにしようとするひとつの実験的な試みですが、今後取り組みが繋がって、どうまちの景色を変えていくのかぜひ推移を見守っていただきたいですね。



まちや商店街のあり方や未来について熱心かつ穏やかに語ってくださった商店会の広瀬さん